

International White Cane Awareness Day

国際白（い）杖の日は、「視覚障害への認識・関心を高めること」を目的に、世界盲人連盟（現：世界盲人連合）によって1970年に制定されました。

視覚障害とは？

視力や視野などの視機能が十分でないために、全く見えなかったり（全盲）、見えにくかったりする状態（弱視・ロービジョンなど）と定義されています。見えにくい状態は、「半分しか見えない」「ごく一部しか見えない」「ぼやけて見える」など、人によって大きく異なります。（下図参照）



視覚障害は、先天性（生まれつき）のものもあれば、緑内障・白内障・糖尿病などの病気、老化・けがなど、後天性のもの（中途視覚障害）もあります。視覚障害者は、世界には全盲の人が約3,600万人、中程度から重度の視力障害者は2億人以上（2015年）、日本で視覚障害で障害者手帳を交付された人はおよそ32万人（2011年）いると推計されています。

白杖：はくじょう（盲人安全杖：もうじんあんぜんつえ）とは？

視覚障害者が道を歩く際に必ず使う（または盲導犬を連れて歩く）よう、法律で定められている杖（補装具）で、第1次世界大戦中にフランスで考案されました。周りの状況を確認したり、自分の体を支えたり、音を出して周りに注意喚起したりする役割があります。そのため、目立つような色のテープ・布・帯などを巻いたものや、白ではなく黄色のものもあります。また、体を支える役割もあるため、聴覚・平衡機能障害や肢体不自由など、特定の障害を持つ人が使って良いことも法律で認められています。



白杖に関する社会問題（一例）

考案から約100年経った現在でも、生産している国や、使い方を教えたり訓練したりする人が未だ少ないため、国によっては、白杖自体が入手困難だったり、竹などで代用したりしている所もあり、白杖を普及させることが最大の課題になっています。また、白杖＝全盲という誤った認識や、白杖使用者や法律などへの認識不足から、視覚障害者に対する差別や偏見も起きています。私達が知るだけでも世界のバリアフリーに貢献することができるのです。

引用
 ・文部科学省https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/004/001.htm
 ・国立障害者リハビリテーションセンター
http://www.rehab.go.jp/Riryu/hk_tebiki/hk_tebiki_info7_1.htm
 ・(株) KOSUGE
<https://www.my-cane.com/盲人安全つえ-白杖-の選び方/盲人安全つえ-白杖-の用語集/>
 ・(株) シナノ
<https://kainos.jp/wp/2017/08/24/杖の歴史...白杖について/>
 ・道路交通法第14条
 ・道路交通法施行令第8条
 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条
 ・公益社団法人 日本眼科協会
<https://www.gankaikai.or.jp/health/47/08.html>
 ・厚生労働省「平成23年生活のしづらなどに関する調査」
https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/seikatsu_chousa_c.html
 ・THE LANCET Global Health(イギリスの医学誌)
[https://www.thelancet.com/journals/langlo/article/PIIS2214-109X\(17\)30293-0/fulltext?elsca1=tlpr](https://www.thelancet.com/journals/langlo/article/PIIS2214-109X(17)30293-0/fulltext?elsca1=tlpr)

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・世界の問題について調べてみる
- ・感じたこと、考えたことを家族に伝える など

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはこちら！

FTCJ 活動ヒント 検索

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

